

参加
無料

第0回
もばらっくらボ
フューチャー
セッション

ぼくらの空き家問題

～地域課題の「見える化」を目指して～



茂原市マスコットキャラクター
モバリん

市内で増加する空き家。その件数は6,000件を超えました。4月からは、空き家バンク制度もスタートしています。

このラボでは、「空き家」をテーマに、茂原市の特性を生かした地域課題の解決方法について、ワークショップ形式で話し合うフューチャーセッションを行います。

お誘い合わせの上、ご参加ください。

4/8 土

16時～17時30分

茂原市役所市民室

茂原市道表1番地 0475-20-1505 (生活課直通)



※当日は茂原公園の桜まつりが開催中であり、駐車場が混雑する恐れがあります。あらかじめご了承ください。

プログラム

- ・茂原市の空き家の現状について
- ・ワークショップ（意見交換） ほか

対象

茂原市のまちづくりに関心をお持ちの方

定員

100名（先着順）

申込締切

4月7日（金）

申込み・問合せ

茂原市役所生活課 TEL0475-20-1505・FAX20-1600
seikatu@city.mobara.chiba.jp

フューチャーセッションとは？

少子高齢化、グローバル化、ライフスタイルの多様化などにより、多くの地域課題は、当事者や行政だけでは解決が難しくなっています。

フューチャーセッションでは、市民や行政、事業者、NPO など、多様な立場の方が参加し、ワークショップの手法などを活用し、問題をさまざまな角度から捉え、地域課題を「見える化」することで、未来（フューチャー）に向けた解決方法を探っていきます。

もばらっくらボとは？

「ラボ」は、研究所（ラボラトリー）の意味。「もばらっくらボ」は、茂原市のまちづくりに関心のある市民の皆さん（もばらっこ）が集まる対話の場です。

その名前には、「もばら×コラボ（協働）」の意味もかけています。

